

# キクの温湯浸漬処理後は水挿し状態でも暗黒処理ができる

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

## 1 部門名

花きーキクー病害虫防除

## 2 担当者名

鈴木詩帆里、星太介

## 3 要旨

キク白さび病の防除方法の1つである挿し穂の温湯浸漬処理は、処理後直ちにその挿し芽済みセルトレーごと暗黒処理を行うため、暗黒処理可能な場所及び資材の確保が必要となる。

そこで、より簡易にできる代替方法を検討したところ、温湯浸漬処理後に水挿し（水を張った容器を用いて挿し穂の切り口を水に浸漬すること）を行い、2～3日経過後に挿し芽することで、これまでより小空間及び少ない資材で実施できることを明らかにした。

- (1) 温湯浸漬処理は、約40℃の湯で1分間予備加熱した後、温湯処理機(商品名:湯芽工房(200Lタイプ))を用い45℃で1分間浸漬処理する。その後冷水で1分間冷却する。
- (2) 水挿し処理は、容器に数センチの水を張り、挿し穂の切り口をしっかりと浸漬する。
- (3) 「精こまき」では全ての区で、「花の舞」では2、3日の暗黒処理期間の区で立ち枯れが見られず、セルトレーでの暗黒処理とその後の生育にも差はほとんど見られない(表1)。

表1 挿し芽2週間後の立ち枯れ株率及び6週間後の生育状況

暗黒処理方法	暗黒処理期間	精こまき			花の舞		
		立ち枯れ株率(%)	草丈(cm)	莖径(mm)	立ち枯れ株率(%)	草丈(cm)	莖径(mm)
セルトレー	1日間	0	15.0	1.8	<b>10</b>	16.2	1.7
	2日間	0	15.8	1.7	0	16.9	1.7
	3日間	0	14.4	2.3	0	15.4	1.7
水挿し	1日間	0	13.4	1.8	<b>3</b>	16.6	1.6
	2日間	0	12.5	1.9	0	18.6	1.5
	3日間	0	14.7	2.0	0	17.9	1.6

※2022年4月18日に温湯浸漬処理、5月6日に立ち枯れ調査、5月31日に生育調査(セルトレー上)を10株3反復で実施。

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(1) 研究課題名 スマート農業プロセスイノベーション推進事業〔農林水産分野の先端技術展開事業(JPJ009997)〕

## 5 主な参考文献・資料

(1) 鎌田ら,計画的な生産・出荷のための夏秋ギク栽培技術マニュアル II. キク白さび病防除編